



▲子どもたちも、振り付けをし  
っかり覚えて踊っていました

「宮城野盆唄」発祥の地。かつて仙台にはオリジナルの盆踊り・盆唄がなく、自分たちの盆踊りが欲しいと立ち上がった宮城野町会が、町内に住む郷土史家で詩人の渡辺波光さんに作詞を依頼し、昭和29年に「宮城野盆唄」が誕生しま

第17回 宮城野町会編

「宮城野盆唄」発祥の地

町内で誕生した盆踊り「宮城野盆唄」を長年踊り継いでいる宮城野区内の町内会・宮城野町会にお伺いし、お話を聞かせていただきました。

古今東西  
くぐんくぐん  
行きます!

郡市長がさまざまな現場を訪問し  
市民の皆さまの活動の様子などをお伝えします

世代を越えて受け継ぐ

この日は、盆踊り大会に向けた練習のため、小・中学生や赤ちゃん連れのお母さん、年配の方と、たくさんの方が集まっていました。私も子どもの頃に踊った記憶があり、懐かしい思いで輪に加わらせていただき、一曲踊り終えた時には全員が笑顔に。町会子供会会長の氏家美香さんは「子どもたちは練習に積極的に参加します。楽しみながら、自分たちが継いでいくという思いでやっているようです」と話してくださいいます。子供会を卒業した中学生も、小学生に教えてくれるとのこと。盆唄を受け継ぐ中で、世代を越えた交

した。歌詞には「萩「鈴虫」青葉山」など、地域の風物や名所がちりばめられています。振り付けも考案され、同年から始めた盆踊り大会は、今年で66回目を迎えます。「球場に最も近い町内会でもあり、楽天野球団の協力の下、毎年、楽天生命パーク宮城の広場で盆踊り大会を開催しています」と教えてくださったのは、渡辺浩会長。文化体育部長の高橋和也さんは「売店や抽選会もあり、大勢の方が参加して、とても盛り上がります」、庄司俊英副会長も「町会の行事には球団の方も毎回参加してくれます」と話してくださいいます。町内外のつながりを大切にして良い関係を築き、盆唄を通じて地域全体を盛り上げているのですね。

深まる地域の絆と魅力

流が自然に生まれているのですね。以前は区内で広く踊られていた盆唄も、最近では踊るところが減ってきています。そこで、宮城野区役所では、町会の協力の下、練習用のDVD・CDを作成。町内会への配布など普及を進めています。「この地域で生まれた盆唄は大切な財産。絶やしてはいけないという思いをずっと持っていたので、ぜひ一緒に作りましょうとなりました」と渡辺会長。この動きをきっかけに、盆唄が広がっていくとうれしく思います。

懇談中には、周りで聞いてくださっている町会の皆さんから次々とエピソードが飛び出すなど、盆唄とともに地域の絆が紡がれてきたことを実感しました。時代が変わり、まちの景色が変化しても、みんなで踊った共通の思い出は、地域を大切にすることを育み、地域の活動を盛んにすることにつながるのだと思います。今年の盆踊り大会は8月17日開催。どなたでも参加できるそうですので、ぜひおいでください!

団体紹介 宮城野町会

▲左から高橋さん、庄司さん、市長、渡辺会長、氏家さん

■宮城野町会盆踊り大会

- 日時＝8月17日(出)18:00～
- 会場＝楽天生命パーク宮城 正面広場